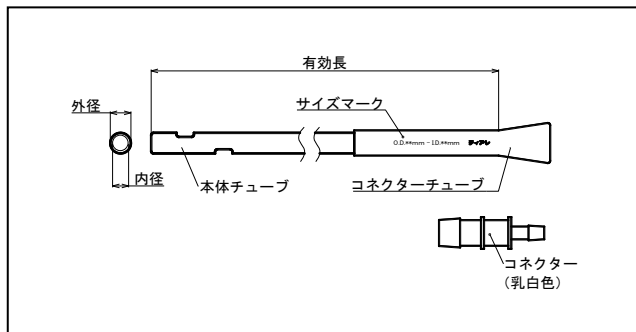


ティアレ 大型動物用胃カテーテル

【形状・構造及び原理等】

本品はポリ塩化ビニル (可塑剤: フタル酸ジ (2-エチルヘキシル)) を使用している。

〈形状〉



呼称	外径	内径	有効長
OD10-ID7	10.0mm	7.0mm	2100mm
OD13-ID10	13.0mm	10.0mm	2700mm
OD15-ID11	15.0mm	11.0mm	
OD18-ID14	18.0mm	14.0mm	3000mm
OD20-ID16	20.0mm	16.0mm	3300mm

〈原材料〉

ポリ塩化ビニル

〈原理〉

カテーテルを経鼻又は経口的に胃まで挿入し、食道・胃内の洗浄、及び吸引、投薬等を行う。注入液等は内腔を通り、側孔から体内へ投与される。

【使用目的又は効果】

経鼻又は経口的に胃内へ挿管し、洗浄や注入を行うためのカテーテルである。

【使用方法等】

以下の使用方法是一般的な使用方法である。

- ①患畜に、状況に応じた体位をとらせ、適切な保定を行う。
- ②必要に応じて、鼻孔に潤滑剤又は表面麻酔剤を塗布する。
- ③カテーテル末端の乳白色コネクターを取り外す。
- ④カテーテル先端に潤滑剤または表面麻酔剤を塗布し、鼻孔または口から挿入する。
- ⑤咽頭にカテーテルが到達したら、食道に誘導する。確実に食道に入ったことを確認したのち、胃内に向け挿入する。
- ⑥カテーテル先端が胃内に到達したら、カテーテルを介して必要な処置を行う。
- ⑦カテーテルを抜去する際は、鼻腔または口腔からゆっくり抜管する。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- ①本品を滅菌する場合は、オートクレーブ滅菌は行わないこと。
[チューブ、又はコネクターが破損する恐れがある。]

- ②気管壁の損傷並びに気管・肺への誤挿入及び誤留置に注意すること。
カテーテル挿入時に抵抗が感じられる場合は、肺への誤挿入の恐れがあるため無理に挿入せずに、一旦抜いてから挿入すること。
- ③潤滑剤でチューブ内腔を閉塞しないこと。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①投薬前後には、フラッシング操作を行うこと。
- ②カテーテルの詰まりを解消する際は、注入器等を使用し、無理な加圧操作を行わないこと。
- ③本品を鉗子等で強く掴まないこと。
- ④コネクター (乳白色) はコネクターチューブの形状保持用であり、本品の使用目的には使用しない。

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

- ①カテーテルの閉塞。
[カテーテル内腔が薬液等の付着や胃内容物等により、閉塞することがある。]
- ②カテーテルの切断。
[下記のような原因による切断。]
 - ・ピンセット、鉗子、はさみ、メス、その他の器具での損傷
 - ・事故抜去等の製品への急激な負荷
 - ・その他上記事象などが要因となる複合的な原因

その他の有害事象

- 本品の使用により、以下の有害事象が発症する恐れがある。
- ・鼻出血、中耳炎、鼻翼部のびらん及び潰瘍、気道粘膜や胃粘膜の損傷及び潰瘍、気管内迷入、誤嚥性肺炎、嘔吐、胃食道逆流等。
 - ・カテーテル切断に伴う体内遺残。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管の条件〉

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿、殺菌灯等の紫外線を避けて清潔に保管すること。

〈有効期間〉

適正な保管方法が保たれていた場合、個包装に記載の使用期限を参照のこと。

[自己認証 (当社データ) による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〈製造販売業者〉

クリエートメディック株式会社
電話番号: 0126-25-3777